

植物普及委員会事業

花咲け！かていえんげい部

東京都立大島高等学校 農林科による 「椿ガイドツアー」に参加！

当協会植物普及委員会では、新たに「花咲け！かていえんげい部」事業として、園芸高校や農業高校を取材し、紹介しています。園芸関連の学生の活動や意識を取材し、発表することで、これらの学校に対する社会一般の理解を深めるとともに、園芸界の未来を担う皆さんの日々の活動を支援していくことを目的としています。今回は、東京都立大島高等学校 農林科を訪問しました。



金子先生（左端）と農林科の生徒の皆さん

2月初旬、三原山もうっすらと雪化粧、という寒さの中、伊豆大島を訪ねました。東京都立大島高校の椿園を訪ねることが目的です。大島高校には約3,000㎡の敷地に約380種類、1,000本以上の園芸品種、原種が管理された椿園があります。伊豆大島には、都立大島高校、都立大島公園、椿花ガーデンの3つの大きな椿園がありますが、2016年2月、これら3園が同時に国際ツバキ協会によって『国際優秀つばき園』に認定されました。教育機関としての認定は、大島高校が世界初だそうです。

伊豆大島は東京から南に約120kmという位置にあり、人口は約8,000人、面積は約90km²と伊豆諸島最大の島です。伊豆大島にはふたつの高校があり、大島高校が元町港の近くに、もうひとつの大島海洋国際高校が波浮港の近くにあります。都立大島高校は、昭和19年4月に東京都大島農林学校として開校、74年の歴史がある高校で、生徒数は129名、普通科と農林科、家政科があり、今回訪ねた農林科では、15名の生徒たちが、熱意あふれる先生方による指導のもとで学んでいます。

農林科では、ホームページに「農林科は今年も地域と共に進んでいきます」と書かれているように、椿や特産の作物を通じて、地域とのつながりをとても大切にしています。岡田港の近くに推定樹齢400年の「仙寿椿」があり、「日本一の風格」と言われていますが、この椿の管理を、地域の方々と協力して行っています。また、校内で集めたヤブツバキの実を、地域の椿油工場に搬入して搾油を依頼して特産の椿油を作り、大丸東京店で毎年秋に開催される「全国農業高校収穫祭」など、島外での椿の魅力発信のためのPR販売もしています。また、この椿油に島に昔から伝わる島唐辛子と合わせたオリジナルの「島高ラー油」の製造や、島外の高校・大学と共同による「椿炭」の開発に向けての研究など、島の産業振興につなげる活動にも積極的に取り組んでいます。こうした地域性の強い活動によって、環境省による「第5回グッドライフアワード実行委員会特別賞」や、地域課題を解決できる若いリーダーを育成するプログラム「アサヒ若武者育成塾」での「地域ブランド貢献賞」の受賞など、各所から高く評価を受けています。またRHS（王立園芸協会）発行の「The Garden」2017年10月号に学校の椿園が紹介されるなど、世界に向けての発信もしています。



大島高校の椿の実を使った椿油



生徒が考案した樹名板（QRコードにアクセスすると開花時期以外にもスマホで花の写真を見られます）

そんな大島高校の椿園で、椿まつりの期間の週末に、生徒たちによる椿ガイドが開催されるとのことで、参加してきました。この日のガイドスタッフは、3名の男子生徒。今年のガイドとしては、まだはじまったばかりでしたので、生徒たちの表情には少々緊張感も見られますが、若者からのガイドを楽しみに集まった旅行客グループや地域の方など、10名ほどの参加者に向けて、ガイドがスタートしました。

椿園ガイドは、平成25年から椿を地域振興に役立てようという取り組みの一環

で始めたとのことで、ガイド原稿は生徒たちが自分で考え、先生のアドバイスを受けて完成させます。海外からのお客様に対しては、英語でのガイドも行います。中国大理市（雲南省）で開催された国際ツバキ協会の大会で国際優秀つばき園の認定を受けた際の英語によるプレゼンテーションも生徒が行ったのだそうで、こうした若者たちの活躍は頼もしい限りです。

椿園ガイドでは、ガイドを担当する生徒が「自分はこの品種が一番好き！」という品種紹介を必ず入れているとのことで、この日のガイド担当の佐藤君が好きな花として紹介してくれた「宝合（たからあわせ）」という花が、とても印象的で魅かれました。ガイドによると、この品種は白地に紅色の絞りが入り、花の形が八重から蓮華咲と大変変化に富んでいて、昔あそびの「貝合（かいあわせ）」のように、同じ形の花を探す遊びをイメージして、「宝合」と名付けられたのだそうです。こうして名前の由来を聞くと、より愛着が湧きま



お気に入りの「宝合」について自らの言葉で丁寧に説明する佐藤君

園内をゆっくりと歩きながら、香りがある品種では、参加者一同で花の香りを体感したり、花が特別大きい品種の紹介で歓声をあげたりと、丁寧なガイドに参加者との交流も交えて、のびのびと椿の魅力を存分に伝えるガイドが続きます。30分間ほどのガイド終了後は、参加者一同、さわやかな気持ちになりました。

編集後記

大島では3月25日（日）まで「伊豆大島椿まつり」が開催されています。期間中の8:30～16:30の間は、大島高校椿園も一般公開されていますので、ぜひ一度足を運ばれてはいかがでしょうか？

東京都立大島高等学校 農林科ホームページ

<http://www.osima-h.metro.tokyo.jp/zen/nourin/toppage.html>

東京都立大島高等学校 ツイッター

<https://twitter.com/tokyoosimahs>